

The 5th e-ICON World Contest 参加レポート

岐阜県立岐阜総合学園高等学校 堀 雅晴
岐阜県立岐阜総合学園高等学校 濱崎 瑞樹

1. 渡航前の活動について

最初に取り組んだことは、大会参加のために必要な書類（学校長の推薦書、生徒の情報を書いた申込書、生徒のサインを含む誓約書、提案書、パスポートのコピーと本人顔写真の画像）を全て英語で作成し、JAPIAS 事務局を通して大会側に提出したことです。また、JAPIAS 事務局に調整をしていただき、過去 e-ICON に参加された方からのアドバイスを Google グループを通して知ることができました。その後に大会側からメールにて連絡があり、チームメイトとなる韓国側のメンバーが決定し、僕たちは Team A となりました。（韓国側の生徒 2 人と先生 1 人、日本などその他国の生徒 2 人と先生 1 人の合計 6 人で 1 つのチームになります。）

チーム決定後は、韓国側のメンバーと主に KakaoTalk を使用して情報を共有しました。（大会側がメンバー間のやり取りのためにチームブログを用意していただきましたが、使用方法が分からなかったため使用しませんでした。）韓国側のメンバーとは、製作するコンテンツの内容についてだけでなく、お互いのもつ技術や趣味などについて話しました。そして、渡航前までに提出する Team A のコンテンツ計画書の内容について決定していきました。その間に大会側からメールで航空券の e-Ticket が送られてきましたが、出発する空港が成田空港と遠方であったり氏名に誤りがあったりしたため、直接大会側に中部国際空港への変更、氏名の修正をお願いしました。

なお、開発や宿泊をする施設には Wi-Fi 設備が整っていると事前に送られてきた資料には書いてありましたが、移動中や速度の心配があったため、念のため空港でモバイル Wi-Fi ルータをレンタルしました。開発期間中に施設の Wi-Fi が一時使用できなくなることがあったため、レンタルして正解でした。また、海外旅行保険にも念のため加入しておきました。

2. チーム概要

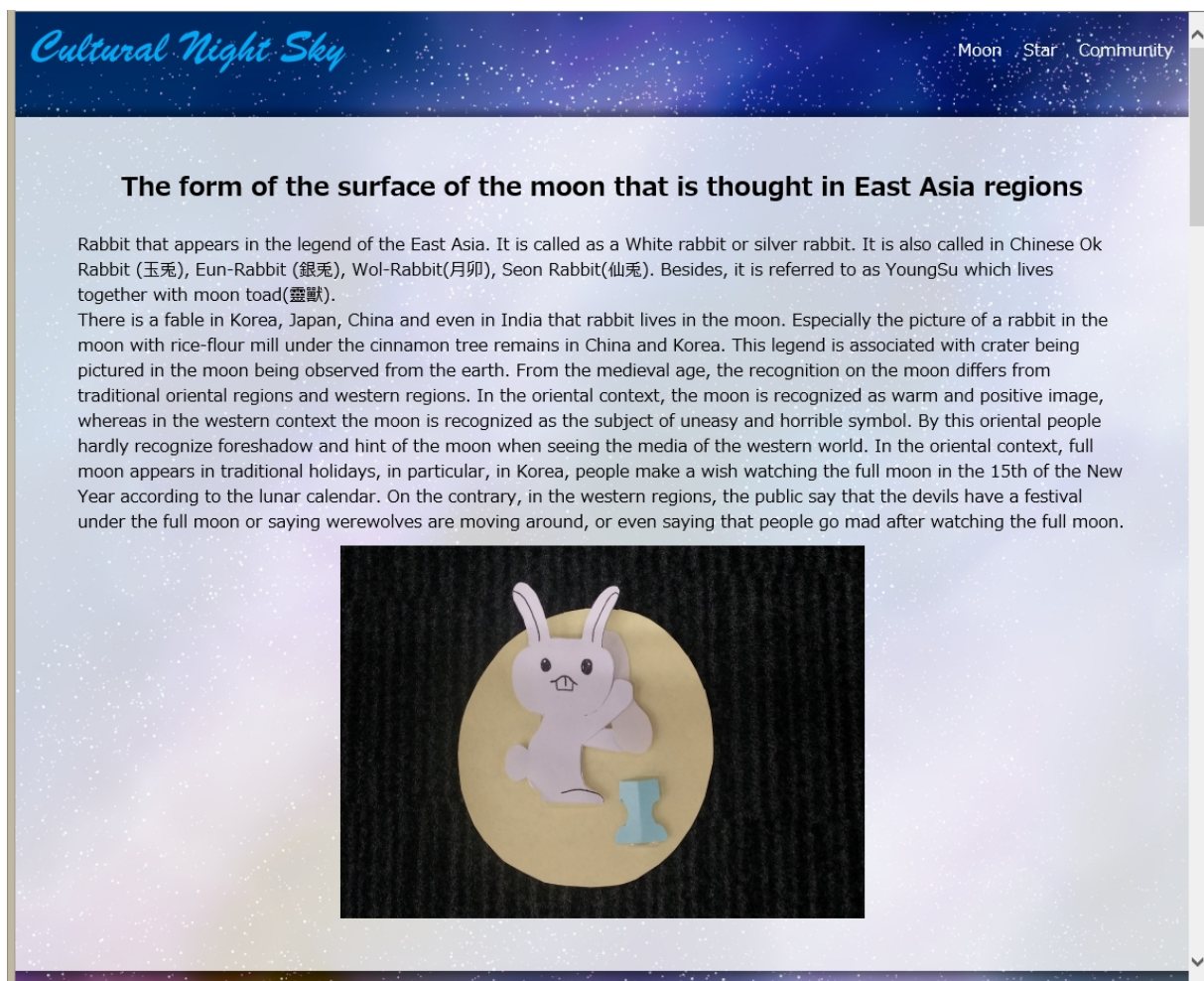
○メンバー構成

【日本】濱崎 瑞樹 (Mizuki Hamasaki)	リーダー・コンテンツ文書作成・ポスター作成
堀 雅晴 (Masaharu Hori)	WEB サイト構築・ポスター作成
【韓国】오민석 (Minseok Oh)	コンテンツ文書作成・プレゼンテーション
이신형 (Sinhyung Lee)	コンテンツ紹介動画作成



○コンテンツ内容

私たちのチームは、日本側が提案した「Cultural Night Sky」という文化的な面からの夜の星についてをまとめたWEBサイトを製作しました。例えば、日本では月の模様がウサギが餅をついているところに見えるとされていますが、他の国では女性が本を読んでいるところやカニのハサミに見えるなど同じ月でも国によってとらえ方が違うことについて取り上げています。また、コミュニティというページも作り、このサイトに掲載されていない夜の星に関することや、最近見えにくくなっている星空をどう守っていくかを話し合うことができるようにしました。




Cultural Night Sky Moon Star Community

The form of the surface of the moon that is thought in East Asia regions

Rabbit that appears in the legend of the East Asia. It is called as a White rabbit or silver rabbit. It is also called in Chinese Ok Rabbit (玉兔), Eun-Rabbit (銀兔), Wol-Rabbit(月卯), Seon Rabbit(仙兔). Besides, it is referred to as YoungSu which lives together with moon toad(靈獸).

There is a fable in Korea, Japan, China and even in India that rabbit lives in the moon. Especially the picture of a rabbit in the moon with rice-flour mill under the cinnamon tree remains in China and Korea. This legend is associated with crater being pictured in the moon being observed from the earth. From the medieval age, the recognition on the moon differs from traditional oriental regions and western regions. In the oriental context, the moon is recognized as warm and positive image, whereas in the western context the moon is recognized as the subject of uneasy and horrible symbol. By this oriental people hardly recognize foreshadow and hint of the moon when seeing the media of the western world. In the oriental context, full moon appears in traditional holidays, in particular, in Korea, people make a wish watching the full moon in the 15th of the New Year according to the lunar calendar. On the contrary, in the western regions, the public say that the devils have a festival under the full moon or saying werewolves are moving around, or even saying that people go mad after watching the full moon.



3. 現地での活動について

○日程

- 9月11日(金) 韓国へ出国
- 12日(土) オープニングセレモニー、開発開始
- 13日(日) 開発
- 14日(月) 開発、プレゼンテーション準備、紹介動画作成
- 15日(火) プレゼンテーション、表彰式
- 16日(水) e-Learning korea 2015にてブース展示、ソウル市内観光
- 17日(木) 日本へ帰国

○詳細

9月11日（金）

11時55分に中部国際空港を出発し13時55分に仁川空港に到着しました。仁川空港では大会側のスタッフが迎えてくださり、時間に余裕があったのでカフェでごちそうになりました。その後、開発・宿泊をする Incheon Airport Aviation Academy にバスで移動しましたが、とても綺麗な施設で、部屋はシャワー（浴槽はありません）・トイレ・冷蔵庫・テレビ（当然ですが韓国の番組しかやっていないので使うことはありません。）完備で、日本のチームメイトと一緒にの部屋になりました。飲料水に関して心配がありましたが、施設内のいたる場所にウォーターサーバーやコーヒーマーカーが設置してあり無料で飲むことができるため、購入の必要がありませんでした。また、施設内のWi-Fiはパスワード入力だけで簡単に接続でき通信速度も問題ないレベルでした。到着後は夕食まで時間があったため、日本のチームメイトと先生でコンテンツに関して話し合いをしました。夕食はバイキング形式でした。その場所で初めて同じチームの韓国側のメンバーと対面しました。その後、コンテンツの内容について一緒に話し合いをしました。なかなか言葉が通じず、意思の疎通ができないのでお互いにとても苦勞しました。私たち日本のメンバーは、その話し合い後、部屋に戻り明日のコンテンツ制作のための準備をしてその日は終了しました。



9月12日（土）

この日はまず初めに、全体でオープニングセレモニーがあり、各チームの自己紹介や大会に関する説明、簡単な交流会がありました。その後、各チームでのコンテンツ制作・開発がスタートしました。製作の途中で気分転換として、韓国側の先生がインチョン空港が見渡せる見晴らしの良い高台に連れて行ってくださいました。また、韓国大会側がお菓子や夜食（この日はピザと揚げ物、トッポギでした。）などをたくさん用意してくださるなど、とても良い環境で製作を進めることができました。



9月13日（日）

この日は、1日中コンテンツの制作でしたが、卓球（施設内に卓球・ビリヤードをする部屋があり自由に使うことができました。）などの息抜き・休憩を挟むなどして頑張りました。私たちのチームは事前にコンテンツを制作していかなかったため、全力で取り組みました。ちなみに、この日も夜食が出ました。ハンバーガーでした。



9月14日（月）

制作最終日のこの日は、サイト制作をしながら明日のプレゼンテーション資料やコンテンツの紹介動画・チラシの制作をしました。WEBサイトに関しては、チームでの制作終了時点で一部未完成の部分があったため、部屋に戻った後、日本のメンバーは製作を続けました。ちなみに、この日も夜食がでましたが、チキンでした。



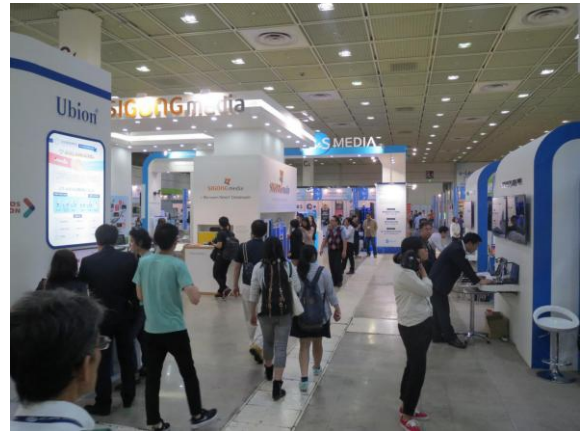
9月15日（火）

この日は、早朝からバスに乗りプレゼンテーションの会場であるソウルのCOEXに移動しました。私たちのチームのプレゼンテーションは主に韓国側のメンバーが進めてくれましたが、とても素晴らしいプレゼンテーション（特に、話し方が）でした。なお、審査に関してはコンテンツの内容だけでなく、プレゼンテーションやメンバー同士の交流なども対象となります。そして、私たちのチームは3rd Prize という結果を残すことができました。表彰式の後、メンバー全員で食事をしました。本来、韓国のメンバーとの別れは次の日の16日なのですが、私たちのチームの韓国メンバーは学校の行事の関係で、この後に別れることになりました。最後の日には、とても良いチームに成長できたと思っています。



9月16日（水）

前日と同じく、早朝から COEX に移動しました。そして、そこで開催される e-Learning Korea 2015 という様々な企業の e-Learning コンテンツの展示会に参加しました。この一部に、私たちが制作したコンテンツが展示されました。午後はソウル市内の観光地で自由時間が設けられており、お土産を購入したりしました。その後、夕食を食べた後バスに乗り宿泊施設に戻りました。



9月17日（木）

日本へ帰国するためにインチョン空港へ早朝に移動し、9時5分発の便に乗り10時55分に無事日本へ帰国しました。

4.まとめ

今回、大きく感じたのが英語力の乏しさです。韓国のメンバーとコンテンツに関することを話しても私たちの英語力の乏しさのせいで思っていることを伝えられなかったりしました。今回は、各チームにサポーターとして韓国の大学生の方がついてくださり、その方が日本語を少し話すことができたため、韓国メンバーと何とか内容の共有ができたのでよかったです。本当に感謝しています。最初はどうなる事かと思いましたが、最終日には友情に近いものが芽生えていました。これは、コンテンツ制作というひとつの目標に向かってがんばってきた事があったからで、言葉や国境を越えて素晴らしい経験ができたと思っています。本当に、このような機会を与えてくださった方々には感謝してもしきれません。この大会を通して学んだことは沢山あります。その学んだことを、これからに活かしていきたいと思っています。